

令和4 年度

政務活動費支出伝票（旅費）

会派名 市政クラブ

伝票番号 23

旅行承認年月日		支払年月日		区 分
令和4年 10月 1日		令和4年 10月 5 日		・調査研究費 ・研修費
	氏 名	金 額		受領年月日
1	工藤恵美	¥33,320		令和4年10月5日
2	遠山俊一	¥33,320		令和4年10月5日
3	金澤浩幸	¥33,320		令和4年10月5日
4	藤井辰吉	¥33,320		令和4年10月5日
5	出村ゆかり	¥33,320		令和4年10月5日
6	山口勝彦	¥33,320		令和4年10月5日
7	中山治	¥33,320		令和4年10月5日
支払金額合計		¥233,240		
旅行の目的 令和4年度 北海道市議会議長会 道南支部議員研修会 参加のため				
用務地 北海道 登別市				
旅行の行程		旅費の内訳（1人当たり）		
10/12	函館市→登別市	路線バス, 私鉄		
10/13	登別市→函館市	J R	¥14,920	
/		日 当	¥6,000	
/		宿泊費	¥12,400	
/		参加費		
/		その他		
		合 計	¥33,320	

出張報告書

令和 4年 10月 14日

市政クラブ

会長 遠山 俊一 様

出張者氏名
工藤 恵美
遠山 俊一
金澤 浩幸
藤井 辰吉
出村 ゆかり
山口 勝彦
中山 治

下記のとおり出張したので報告します。

記

1 出張期間	令和 4年 10月 12日 ~ 令和 4年 10月 13日 (2日間)
2 用務地	① 10月 12日 登別市
3 出張概要	令和4年度 北海道市議会議長会 道南支部議員研修会 参加 講演 演題 地域包括ケアには医療介護情報連携システム構築が必要 ~「スワンネット北海道」の試み~ 講師 室蘭市医師会副会長 スワンネット北海道運営委員会委員長 村下 十志文 氏 参加者数 123名
4 所見	別紙に記載
備考	

領 収 証

通 番	T005-054700
領収証番号	00427063986-03-48
発行日	2022年10月 5日

市政クラブ 工藤恵美 様

下記の金額正に領収いたしました

¥14,920 -

但し JR乗車券代金として
10/12-13函館ー登別往復

10/12 北斗9号 函館 → 登別
10/13 北斗6号 登別 → 函館

ご入金内訳 (今回のご入金額)

日 付	種 別	金 額
2022/10/05	現 金	¥14,920
合 計 金 額		¥14,920

函館五稜郭店
〒040-0011 北海道函館市本町
6-7
函館第一ビル1階
TEL: 0138-56-1714

出納責任者	
取扱者	



印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 品 川
税 務 署 承 認 済

作成地: 東京都品川区東品川2-3-11

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

領 収 証

通 番	T005-054701
領収証番号	00427063986-04-48
発行日	2022年10月 5日

市政クラブ 遠山俊一様

下記の金額正に領収いたしました

¥14,920 -

但し JR乗車券代金として
10/12-13函館-登別往復

10/12 北斗9号 函館→登別

10/13 北斗6号 登別→函館

ご入金内訳 (今回のご入金額)

日 付	種 別	金 額
2022/10/05	現 金	¥14,920
合 計 金 額		¥14,920

函館五稜郭店
〒040-0011 北海道函館市本町
6-7
函館第一ビル1階
TEL: 0138-56-1714

出納責任者 
取扱者 



印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 品 川
税 務 署 承 認 済

作成地: 東京都品川区東品川 2-3-11

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

領 収 証

通 番	T005-054699
領収証番号	00427063986-02-48
発行日	2022年10月 5日

市政クラブ 金澤浩幸 様

下記の金額正に領収いたしました

¥ 14,920 -

但し JR乗車券代金として
10/12-13函館-登別往復

10/12 北斗9号 函館→登別
10/13 北斗6号 登別→函館

ご入金内訳 (今回のご入金額)

日 付	種 別	金 額
2022/10/05	現 金	¥14,920
合 計 金 額		¥14,920

函館五稜郭店
〒040-0011 北海道函館市本町
6-7
函館第一ビル1階
TEL: 0138-56-1714

出納責任者	
取扱者	



納 告 申 税 紙 印
川 品 付 税 務 署 承 認 済

作成地: 東京都品川区東品川2-3-11

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

領 収 証

通 番	T005-054703
領収証番号	00427063986-06-48
発 行 日	2022年10月 5日

市政クラブ 藤井辰吉 様

下記の金額正に領収いたしました

¥14,920 -

但し JR乗車券代金として
10/12-13函館-登別往復

10/12 北斗9号 函館→登別
10/13 北斗6号 登別→函館

ご入金内訳（今回のご入金額）

日 付	種 別	金 額
2022/10/05	現 金	¥14,920
合 計 金 額		¥14,920

函館五稜郭店
〒040-0011 北海道函館市本町
6-7
函館第一ビル1階
TEL: 0138-56-1714

出納責任者 
取扱者 



印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 品 川
税 務 署 承 認 済

作成地：東京都品川区東品川2-3-11

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

領 収 証

通 番	T005-054698
領収証番号	00427063986-01-48
発 行 日	2022年10月 5日

市政クラブ 出村ゆかり 様

下記の金額正に領収いたしました

¥14,920 -

但し JR乗車券代金として
10/12-13函館ー登別往復

10/12 北斗9号 函館 → 登別
10/13 北斗6号 登別 → 函館

ご入金内訳 (今回のご入金額)

日 付	種 別	金 額
2022/10/05	現 金	¥14,920
合 計 金 額		¥14,920

函館五稜郭店
〒040-0011 北海道函館市本町
6-7
函館第一ビル1階
TEL: 0138-56-1714

出納責任者 
取扱者 



印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 品 川
税 務 署 承 認 済

作成地: 東京都品川区東品川2-3-11

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

領 収 証

通 番	T005-054704
領収証番号	00427063986-07-48
発 行 日	2022年10月 5日

市政クラブ 山口勝彦 様

下記の金額正に領収いたしました

¥ 14,920 -

但し JR乗車券代金として
10/12-13函館ー登別往復

10/12 北斗9号 函館 → 登別
10/13 北斗6号 登別 → 函館

ご入金内訳 (今回のご入金額)

日 付	種 別	金 額
2022/10/05	現 金	¥14,920
合 計 金 額		¥14,920

函館五稜郭店
〒040-0011 北海道函館市本町
6-7
函館第一ビル1階
TEL: 0138-56-1714

出納責任者	
取 扱 者	



印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 品 川
税 務 署 承 認 済
作成地: 東京都品川区東品川2-3-11

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

領 収 証

通 番	T005-054702
領収証番号	00427063986-05-48
発 行 日	2022年10月 5日

市政クラブ 中山治 様

下記の金額正に領収いたしました

¥14,920 -

但し JR乗車券代金として
10/12-13函館-登別往復

10/12 北斗9号 函館 → 登別
10/13 北斗6号 登別 → 函館

ご入金内訳 (今回のご入金額)

日 付	種 別	金 額
2022/10/05	現 金	¥14,920
合 計 金 額		¥14,920

函館五稜郭店
〒040-0011 北海道函館市本町
6-7
函館第一ビル1階
TEL: 0138-56-1714

出納責任者 
取 扱 者 



印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 品 川
税 務 署 承 認 済
作成地：東京都品川区東品川2-3-11

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

請求・領収書
RECEIPT

No. 157874

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 工藤 恵美 様

滝本イン
〒059-0551
〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

お部屋番号 ROOM NO.	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	人数 PERSON(S)	休憩 PERSON(S)	係り CLERK
502	2022/10/12	2022/10/13	13	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	数量 QUANTITY	単価 UNIT PRICE	御料金 CHARGE	備考 REMARKS
2022/10/12	ご宿泊代	1	12,400	12,400	
	-----宿泊小計-----			12,400	
	総計金額			12,400	
	(内消費税)			1,100	
	(内入湯税)			300	
	-----総入金額-----			0	
	-----差引請求額-----			12,400	

領 収 書 RECEIPT

No. 157874 2022 年 10 月 12 日

9:34:36 発行

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 工藤 恵美 様

滝本イン

総合計 12,400 (内消費税 1,400) 円也

印 収

〒059-0551

クーポン・前受金 0 円

紙 入

〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

差引領収金額 12,400 円

STAMP

請求・領収書

RECEIPT

No. 157875 _____

滝本イン

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 遠山 俊一 様

〒059-0551
〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

お部屋番号 ROOM NO.	到着日 ARRIVAL DATE	出発日 DEPARTURE DATE	人数 PERSONS	休憩 PERSONS	係り CLERK
505	2022/10/12	2022/10/13	13	0	

日付 DATE	項目 DESCRIPTION	数量 QUANTITY	単価 UNIT PRICE	御料金 CHARGE	備考 REMARKS
2022/10/12	ご宿泊代	1	12,400	12,400	
	-----宿泊小計-----			12,400	
	総計金額			12,400	
	(内消費税)			1,100	
	(内入湯税)			300	
	-----総入金額-----			0	
	-----差引請求額-----			12,400	

領 収 書 RECEIPT

No. 157875 2022 年 | 10 月 | 12 日 9:34:36 発行

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 遠山 俊一 様

滝本イン

総合計 12,400 (内消費税 1,400) 円也

印 収

〒059-0551

クーポン前受金 0 円

紙 入

〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

差引領収金額 12,400 円

MOTEL INN

請求・領収書 RECEIPT

No. 157876 _____

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 金澤 浩幸 様

滝本イン
〒059-0551
〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

お部屋番号 ROOM NO.	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	ご人数 PERSON(S)	ご休憩 PERSON(S)	係り CLERK
506	2022/10/12	2022/10/13	13	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	数量 QUANTITY	単価 UNIT PRICE	御料金 CHARGE	備考 REMARKS
2022/10/12	ご宿泊代	1	12,400	12,400	
	-----宿泊小計-----			12,400	
	総計金額			12,400	
	(内消費税)			1,100	
	(内入湯税)			300	
	-----総入金額-----			0	
	-----差引請求額-----			12,400	

領 収 書 RECEIPT

No. 157876 2022 年 10 月 12 日 9:34:36 発行

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 金澤 浩幸 様

滝本イン
〒059-0551
〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

印 収
紙 入

総合計 12,400 (内消費税 1,400) 円也

クーポン前受金 0 円

差引領収金額 12,400 円

請求・領収書 RECEIPT

No. 157877 _____

滝本イン

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 藤井 辰吉 様

〒059-0551
〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

お部屋番号 ROOM NO.	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	ご人数 PERSON(S)	ご休憩 PERSON(S)	係り CLERK
508	2022/10/12	2022/10/13	13	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	数量 QUANTITY	単価 UNIT PRICE	御料金 CHARGE	備考 REMARKS
2022/10/12	ご宿泊代 -----宿泊小計-----	1	12,400	12,400	
				12,400	
	総計金額 (内消費税)			12,400 1,100	
	(内入湯税)			300	
	-----総入金額-----			0	
	-----差引請求額-----			12,400	

領 収 書 RECEIPT

No. 157877 2022 年 | 10 月 | 12 日 9:34:36 発行

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 藤井 辰吉 様

滝本イン

総合計 12,400 (内消費税 1,400) 円也

印 収

〒059-0551

クーポン前受金 0 円

紙 入

〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

差引領収金額 12,400 円

請求・領収書

RECEIPT

No. 157878

滝本イン

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 出村 ゆかり 様

〒059-0551
〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

お部屋番号 ROOM NO.	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	ご人数 PERSON(S)	ご休憩 PERSON(S)	係り CLERK
510	2022/10/12	2022/10/13	13	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	数量 QUANTITY	単価 UNIT PRICE	料金 CHARGE	備考 REMARKS
2022/10/12	ご宿泊代	1	12,400	12,400	
	-----宿泊小計-----			12,400	
	総計金額			12,400	
	(内消費税)			1,100	
	(内入湯税)			300	
	-----総入金額-----			0	
	-----差引請求額-----			12,400	

領 収 書 RECEIPT

No. 157878 2022 年 | 10 月 | 12 日

9:34:36 発行

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 出村 ゆかり 様

滝本イン

総合計 12,400 (内消費税 1,400) 円也

印 収

〒059-0551

クーポン前受金 0 円

紙 入

〒059-0551

登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

差引領収金額 12,400 円

1 JAN

請求・領収書 RECEIPT

No. 157879 _____

滝本イン

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 山口 勝彦 様

〒059-0551
〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

お部屋番号 ROOM NO.	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	ご人数 PERSON(S)	ご体数 PERSON(S)	係り CLERK	
511	2022/10/12	2022/10/13	13	0		
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	数量 QUANTITY	単価 UNIT PRICE	御料金 CHARGE	備考 REMARKS	
2022/10/12	ご宿泊代 -----宿泊小計-----	1	12,400	12,400		
	総計金額 (内消費税) (内入湯税)			12,400 1,100 300		
	-----総入金額-----			0		
	-----差引請求額-----			12,400		

領 収 書 RECEIPT

No. 157879 2022 年 | 10 月 | 12 日 9:34:36 発行

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 山口 勝彦 様

滝本イン

総合計 12,400 (内消費税 1,400) 円也

印 収

〒059-0551

クーポン加算金 0 円

紙 入

〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

差引領収金額 12,400 円

請求・領収書

RECEIPT

No. 157880

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 中山 治 様

滝本イン

〒059-0551
〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

お部屋番号 ROOM NO.	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	ご人数 PERSON(S)	ご休憩 PERSON(S)	係り CLERK
512	2022/10/12	2022/10/13	13	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	数量 QUANTITY	単価 UNIT PRICE	御料金 CHARGE	備考 REMARKS
2022/10/12	ご宿泊代	1	12,400	12,400	
	-----宿泊小計-----			12,400	
	総計金額			12,400	
	(内消費税)			1,100	
	(内入湯税)			300	
	-----総入金額-----			0	
	-----差引請求額-----			12,400	

領 収 書 RECEIPT

No. 157880

2022 年 10 月 12 日

9:34:36 発行

お名前
GUEST NAME 市政クラブ 中山 治 様

滝本イン

総合計 12,400 (内消費税 1,400) 円也

クーポン前受金 0 円

差引領収金額 12,400 円

印 収

〒059-0551

紙 入

〒059-0551 登別市登別温泉町76-2
TEL 0143-84-2205

10/12

**令和4年度
北海道市議会議長会**

道南支部議員研修会

と き 令和4年10月12日(水) 午後3時~午後5時

ところ 登別グランドホテル

この研修会は市町村振興宝くじ(通称:サマージャンボ宝くじ)の収益金を活用して実施しております。

研 修 会 日 程

2階「ラーチ」

司会：登別市議会副議長 千田 文孝

1 開 会

2 挨拶 登別市議会議長 辻 弘之

3 祝 辞 登別市副市長 伊藤 嘉規 様

4 講 演

・演題 地域包括ケアには医療介護情報連携システム構築が必要
～「スワンネット北海道」の試み～

・講師 室蘭市医師会副会長
スワンネット北海道運営委員会委員長 村下 十志文 様

5 閉 会

令和4年度
北海道市議会議長会
道南支部議員研修会

地域包括ケアには
医療介護情報連携システム構築が必要
～「スワンネット北海道」の試み～

市政クラブ 遠山 俊一

10月12日、登別グランドホテルにおいて上記表題について、室蘭市医師会の下村十志文先生のご講演を頂きました。

その必要性については2025年には約800万人の、いわゆる団塊の世代が75才以上の後期高齢者になり、その数は人口の20%に当たる。それによって労働力人口の減少が加速化し労働力不足が発生する。一方で、医療や介護の問題が表面化し医療人材の不足、医療費の増大、社会保障費の確保が社会問題となる、と述べられています。

室蘭医師会では総務省の「ユビキタスタウン構想推進事業」に対し「室蘭地域医療連携総合システム構築事業」を提案し、市内中核3病院でID-Linkを利用した「医師・医療機関相互連携システム」を立ち上げました。“SWAN”と命名したネットワークで情報開示施設となり開示3病院、閲覧13で稼働しています。その後、総務省の「クラウド型HER高度化事業」への参加を検討し、“スワンネット北海道”へと移行している。

「クラウド型HER高度化事業」は100%の補助率ですが、補助要件として1年間で対象医療圏内人口の5%以上、3年間で10%以上の登録をする。公的資金に過度に頼らず、支出に過半を参加施設の利用料で確保する。病院や診療所などのみならず歯科診療所、薬局、介護施設等、多職種連携体制を構築する。相互の情報提供および閲覧を参加施設の80%以上を実現する。医療情報・介護情報をクラウド上で統合的に管理し、画面上に一元的に表示する、などが上げられている。

“スワンネット北海道”の意義として地域包括ケアシステムの中核となり、救急搬送時の医療情報の入手、噴火、津波、水害など自然災害が発生し、病院や診療所の機能が失われた時に医療情報が入手できることなどがあげられているが、室蘭市医師会のエリアである西胆振の3市4町の参加状況は住民30,222人と17,4%。参加施設は病院、医療診療所、歯科診療所、調剤薬局、

介護施設 569の内151と26, 54%にとどまっている。

今後の課題として現存する設備の拡充が望まれるが、更新に対する補助制度はなく、新たな施設の拡大に対しては北海道からの1/2の補助はあるが、残りは自己負担になる事から財政的な支援が求められる。データのクラウド化、マイナンバーカードの普及などとの連携に対応する必要などがあげられている。また、地域包括システムの構築には他職種連携が不可欠であり、そのためには多くの住民が理解をし、参加施設の増加など課題を克服しながら医療介護連携システムの構築をする必要があるとしている。

最後に、函館市には函館市医療・介護連携支援センターがあるが、各施設における医療情報を共有するためにどのような取り組みが行われているのか知りたいところである。

令和4年10月



所見

今般、公益財団法人室蘭市医師会スワンネット北海道運営委員会の、村下氏の講演をお聞きし、医師会は、郡市医師会（市区町村）、都道府県医師会（都道府県）、日本医師会（日本国）の三層構造である事、胆振総合振興局内には、室蘭医師会、苫小牧医師会、胆振西部医師会の3医師会がある事、今回はそのうちの室蘭医師会が取り組んできた医療連携システムについて、説明を受けました。

室蘭市医師会の医療連携システムの歴史としては、平成21年室蘭市が「室蘭地域医療連携総合システム構築事業」として提案したのが始まりであり、平成22年ID-Linkを利用した中核病院での情報開示が稼働し、スワンと、名づけられたとの事

平成28年定住自立圏構想の一部として補助金を活用し、4箇所のサーバーを更新、平成29年クラウド型HER高度化事業参加を検討し、平成30年室蘭医師会スワンネットとして、今日に至るとの事です。

本システムのメリットとしては二重入力、重複検査の回避、介護との連携等があり、デメリットとしては、個人情報の保護や診断情報開示への医師の抵抗などがあるとの事。

スワンネットの参加状況としては医科診療所と介護施設の参加が特に少なく

今後の課題との事。

今後の展望としては、地域包括ケアシステムの構築には、多職種連携が不可欠であり、医療と介護の連携システムの構築が必要、データのクラウド化やマイナンバーカードの普及との連携が必要、何よりも住民参加数、参加施設の増加が必要との事でした。

函館市においても、今後、医療と介護の連携を進めていくうえで、市民理解、参加施設の増加が必要との認識に立ち、進めていくべきものと確認できた研修となりました。

所 見

藤井 辰吉

二次医療圏における患者情報の共有について、事例を基に学んだ。

事例としては、室蘭市・登別市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町を擁する西胆振で展開されているスワンネットというシステムが取り上げられた。

導入にかかわる予算の参考として紹介するが、実際に展開される前に、総務省指導のもと、佐渡島で実証実験がおこなわれた。そのときに要した予算は16億円だという。現在は補助予算制度上5千万円以内で導入を目指すよう仕向けられているらしいが、現場ではかなり無理がかかっているという印象であった。

システムの特徴としては、圏域内に住んでいる登録者の治療や健康状態に関する情報がクラウド化され、その情報を医療や介護の関係機関などで登録のある施設であれば誰でも閲覧できるという情報共有システムである。

システムのデメリットや難点としては、誰が見たのかという記録は残るものの、個人の情報を誰でもみることができるという情報保護に関する懸念。また、医師が情報開示に抵抗感があるということ。そして、導入費用の負担に課題が多く残っているということ。

しかし、それらのデメリットや難点を乗り越えられるのであれば、有益な点が多いという印象であった。

システムが有効に活用されることの効果としては、採血や画像検査結果、同じ薬の処方など重複を避けることができるという点。これらは、同じ件でセカンドオピニオンを得るために複数の医療機関で検査を受けるときなど、二重、三重と同じ検査を繰り返すことなく、最初の機関でのデータを基に診察できるというように、患者も機関も負担を減らすことができる。この点も含めてか、小児科におけるシステムの評価が高いという。

介護の現場においては、介護利用者本人が医師から聞いたことをはっきりと覚えていないこともあるとのことで、そのような場合に介護施設がこのシステムから情報を得ることができるので特に重宝するという。

また、緊急搬送時に医療機関に到着するまでの救急車内で医療情報を入手できることや、噴火・ブラックアウト・津波・水害など自然災害時に診療所・病院機能が失われた時であってもクラウド上から医療情報を入手できるという大きなメリットも存在する。

さらには、あらゆる負担を減らすことによって、医療・介護人材の不足、医療費の増大、社会保障費の確保など、表面化する社会問題の解決にも結び付く。

個人情報の取り扱いに関する住民理解を得る必要や、地域の医師会に導入費の大きな負担が発生するなどの課題はあるが、実用性と有益性の高いシステムであると感じた。

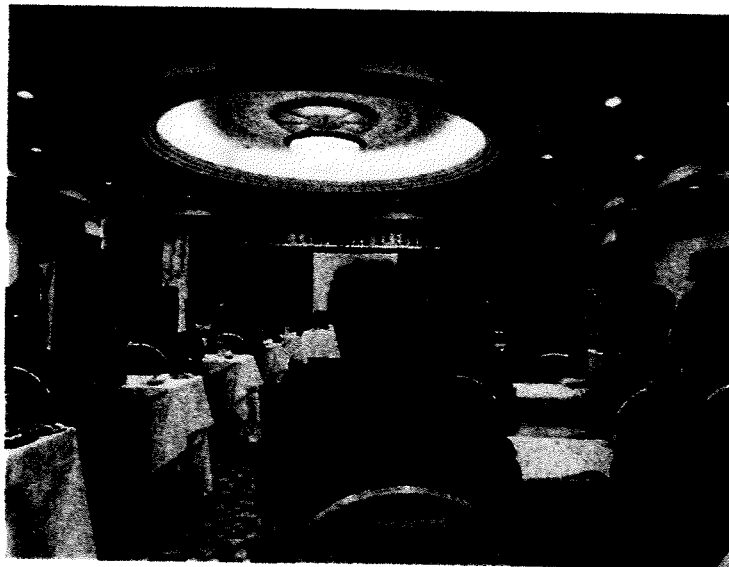
以上

令和4年度
北海道市議会議長会
道南支部議員研修会

所見

市政クラブ 出村ゆかり

- ・日 時：令和4年10月12日
- ・会 場：登別グランドホテル
- ・テーマ：地域包括ケアには医療介護情報連携システム構築が必要
～「スワンネット北海道」の試み
- ・講 師：公益社団法人 室蘭市医師会
スワンネット北海道運営委員会 村下十志文氏



研修会場にて

まず、標題の「スワンネット北海道」とは、西胆振（登別市・室蘭市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）住民の医療・保健情報を、病院や診療所、歯科診療所、薬局、介護事業所などの施設で共有するシステム『スワンネット北海道』が平成30年1月からスタートしている。

診療内容や処方された薬の内容などは、従来は医療機関ごとに管理されていたため、ほかの医療機関で診察を受ける場合などは本人や家族が診断書やお薬手帳などを持参したり、説明をする必要があったが、スワンネット北海道に参加すると、それぞれの医療機関などが管理する診療内容などを一括管理することで、さまざまな施設間で情報を共有することができ、より質の高い医療・介護サービスが受けられることが期待できる。参加は無料で、現在、病院や介護サービスを利用していない方も参加できる。

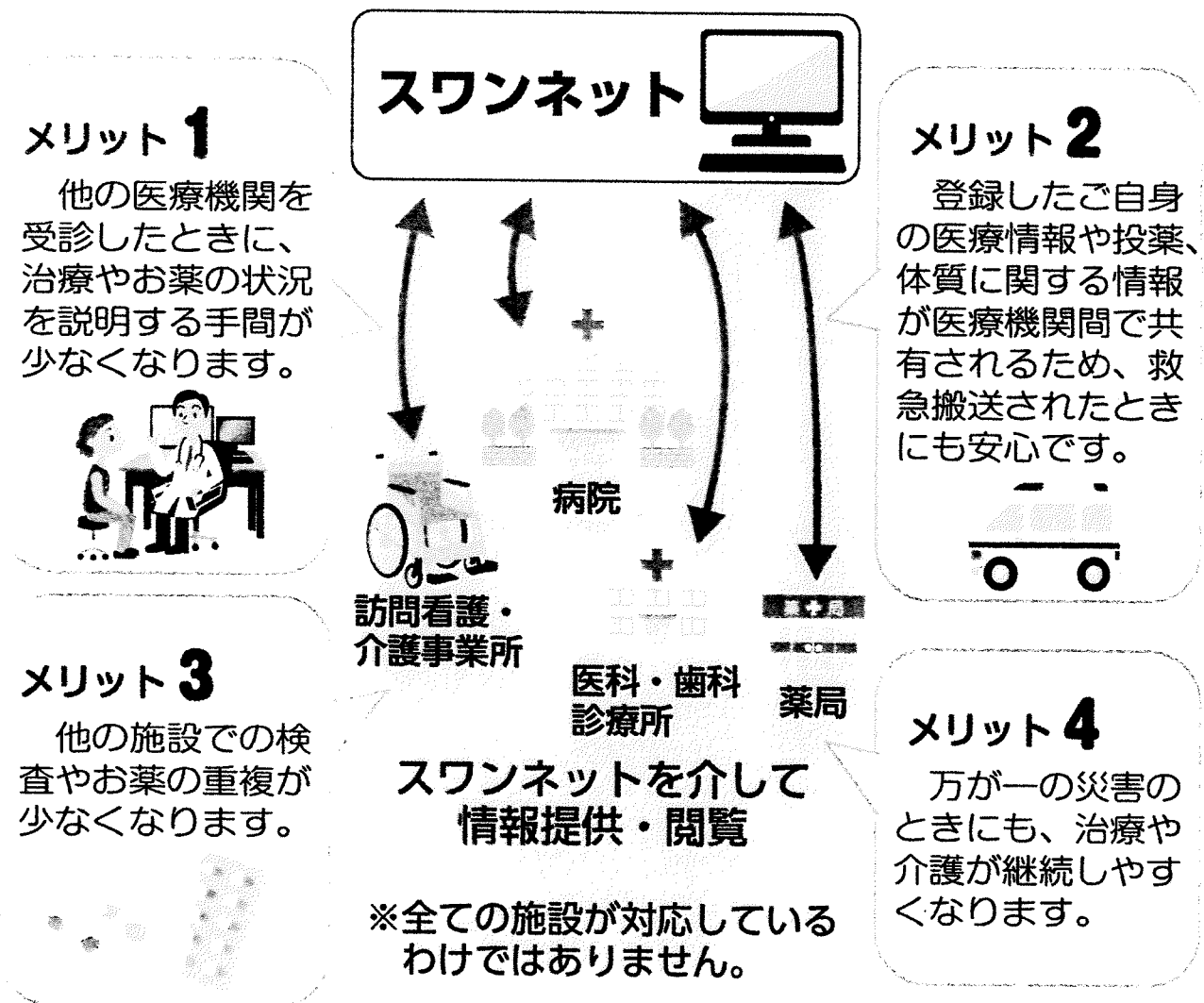
メリットとして、大きく4点挙げられる。まず一つ目に他の医療機関を受診した際に治療や薬の状況の説明する手間が省ける。二つ目には登録した自身の医療情報や投薬、体質に関する情報が医療機関間で共有されるため、救急搬送された際に安心である。三つ目には他の施設での薬の重複が避けられる。四つ目は万が一の災害時にも治療や介護が継続して受けやすい、などがある。

しかし、これらのシステムはH28年～29年クラウド型EHR高度化事業（補助事業）の公募に選定され、約20億円予算（100%補助）により進められてきた。

非常に有効かつ時代に即したシステムであることは理解できるが、令和に入りコロナ禍により国の予算からは大幅に遠ざかっている中で（補助金制度がない）自治体による自主財源のみで当事業を進めることは非常に困難であろう。

また、マイナンバー制度の進捗状況を見ても、国民のデジタル化への理解は世代格差が否めないため、個人情報流出不安、またデータのクラウド化など機密情報の取り扱いに医療機関の協力体制が果たして整うのであろうか疑問である。最終形態は介護とも連携ということだが、住民参加・事業所の参加には高いハードルがある。以上のように感じた研修会であった。

以上



令和 4 年 10 月 15 日

令和 4 年度北海道市議会議長会道南支部議員研修会報告書

市政クラブ

山口 勝彦

R4. 10. 12 登別市、登別グランドホテルにて研修会総勢 123 名参加の内、函館市より 14 名参加し、村下講師により室蘭医師会の医療連携システムの歴史からクラウド型高度化事業やスワンネット北海道の構築に向けての利用状況や、問題点など今後の展望として地域包括ケアシステムの中核化や、電子カルテの標準化やクラウド化など電子処方箋との連携が望まれるなど自治体の役割などとして、診療所（リプレイス）、病院（サーバー）、更新補助の財政的支援や要支援、要介護の住民参加促進や業務の簡略化など人的支援が望まれる。

今後はスマート化が必要とされるなど、関連事例を取り上げ、スワンネット北海道の意義として地域包括ケアシステム構築の中核化や、緊急搬送時（救急車内）の医療情報の入手など、自然災害時診療所や病院機能が失われた時の医療情報の入手などや、今後の地域包括ケアシステムの構築に多職種連携が不可欠であり、医療介護連携システム構築が更に必要と成り、スワンネット北海道が医療介護連携システム構築に寄与していく可能性は高いなど、データのクラウド化やマイナンバーカードの普及などとの連携に対応する必要性が有り、医療介護連携システム構築は住民参加数の増加や参加施設の増加が課題として研修会の講演を午後 5 時閉会。

平時や災害時の医療介護連携システム構築が更に重要であり機能を十分に発揮し、住民とのコミュニケーションを確保する事に意義があり、そんな街函館に更に向上させたいと思っております。

函館市議会議員 中山治

北海道市議会議長会道南支部研修会

日時：令和4年10月21日

場所：登別グランドホテル

講師：室蘭医師会副会長 村下 十志文先生

テーマ：「地域包括ケアには医療介護情報連携システム構築が必要

～「スワンネット北海道」の試み～

10月12日、令和4年度北海道市議会議長会道南支部議員研修会が登別グランドホテルにおいて3年ぶりに開催され、室蘭市医師会副会長でスワンネット北海道運営委員長の村下先生より「地域包括ケアには医療介護情報連携システム構築が必要～「スワンネット北海道」の試み～」と題してのご講演をお聞きしました。

「スワンネット」は、経済・社会・文化・住民生活など、さまざまな分野で密接な関係にある西胆振3市3町の地域（室蘭市・登別市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）での医療・保健情報を共有するためのシステムで、平成30年1月から始まり、病院・医科診療所・歯科診療所・薬局・介護事業所などの施設それぞれが登録することで、各施設は「スワンネット」を通して情報を共有することができるようになっておりこのシ

システムにより、より安全で質の高い医療・介護・健康サービスを提供できるようになっているという説明でした。

メリットとして、いつもとは違う医療機関を受診したときに治療や薬の状況を説明する手間が少なくなります。

また、登録したご自身の医療情報・薬・体質に関する情報がスワンネット参加医療機関などで共有されるため、救急搬送されたときにも安心で、他の施設での検査や薬の重複が少なくなります。情報が共有化されているので、万が一の災害の際にも、治療や介護を継続しやすくなるということでした。国では、団塊の世代が75才以上になる2025年を目途に最後まで住み慣れた地域で自分らしく過ごせるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しているが、そのためには医療機関・薬局・介護などの多職種連携が不可欠であり、医療介護連携システム構築が必要となる。室蘭市医師会で構築した「スワンネット北海道」さらに寄与していく可能性は高いが、住民や、各施設の参加増加が必要であること、また、財政面や人的支援の必要性等の課題も多いことから行政との連携・支援が必要であり、今後函館市においても参考にしていければと感じています。

令和4年度 北海道市議会議長会 道南支部議員研修会 所見
市政クラブ 工藤恵美

10月12日、登別グランドホテルにて室蘭市医師会の下村十志文先生の講演を聞いた。
地域包括ケアには医療・介護・すべての情報が連携できていることが必須であり今後は
さらに後期高齢者が増加傾向であるため早急な構築が不可欠であると理解できた。
本市にも包括支援センターはあるものの情報のクラウド化は未知のものである。
本市における現状を調査確認してまいりたい。

令和4年度

政務活動費支出伝票 (一般)

会派名 市政クラブ

伝票番号 24

支出年月日	区 分		
令和4年10月7日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費 事務費		
支払先 三菱HCビジネスリース株式会社		支払金額	
		¥15,768	
摘要 (品名)	数量	単価	金額
2022年9月分 コピー機リース料	1	¥15,768	¥15,768

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと (重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】